

2020年7月10日

株式会社秋田新電元
代表取締役社長
小島 卓也

創立50周年を迎えて

2020年7月10日をもって(株)秋田新電元は創立50周年を迎えることができました。取引先の皆さん、地域の皆さん、そして従業員の皆さんの協力をいただきながら発展してきました。この場を借りて感謝申し上げるとともに、その節目として記念誌を発刊することとなりました。

50年前、縁あってこの地に半導体工場を設立してから30年間は、バブル崩壊などの不況はあったものの、2000年には従業員数も1,000名を超え売上も200億円に手が届くところまで順調に発展してきました。しかしその後の20年間、特にリーマンショック以降は従業員数800名弱、売上130億円前後で足踏みを続けています。一方、秋田新電元が電子デバイス事業のマザー工場としての地位を確立して存続してきたことは、単なる製造工場としてではなく、生産設備や製品の設計・開発も担える人材・技術を発展させてきたためだと思います。

これから新たな半世紀に向けて第一歩を踏み出すこととなりますが、その第一歩となる今年には、予想だにできなかった新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な経済の停滞に見舞われています。なかなか感染収束は見えませんが、今後の車載市場では、電動化、自動運転などの電子化がさらに進むでしょう。また、コロナウイルス感染拡大によるリモートコミュニケーションの拡大は、通信網、5G関連インフラの整備、クラウド環境の拡大につながり、電子部品市場は今後もさらなる拡大が予想されます。しかし、この市場で生き残っていくためには、さらなる高機能・高付加価値化、品質の確保、価格の低減が必要です。そのためには物事をシンプルにとらえ、今一度原点に立ちかえった製品開発、生産ライン構築を進めることで市場要求にこたえていかななくてはなりません。そして新たな半世紀に向けて、魅力ある製品を生み出していく所存です。